

日本・パプアニューギニア外交関係樹立40周年記念  
日本国総理大臣及びパプアニューギニア独立国首相による共同メッセージ  
「友情、信頼及び相互努力の40年、そして未来へ」

1 我々、安倍晋三内閣総理大臣及びピーター・オニール首相は、日本国とパプアニューギニア独立国との間の外交関係樹立40周年を祝うとともに、両国の長年にわたる友好協力関係を一層発展させるとの決意を再確認する。

2 我々は、歴史を振り返り、パプアニューギニアにおいて数知れぬ命が失われた先の大戦への深い悔悟の念と共に終戦70年の節目に安倍総理が発出した談話及びパプアニューギニアによる同談話への評価を想起する。我々は、新しい平和安全法制を含め国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から、地域及び国際社会の平和と安全に一層積極的に貢献するとの日本の変わらぬ決意並びに日本のそのような取組及び貢献へのパプアニューギニアによる評価及び支持を認識する。我々はまた、日本の長年にわたる協力がパプアニューギニアの持続可能な開発及び国際社会における地位の向上に大いに貢献したこと及び日本のこのような協力へのパプアニューギニアによる評価を確認する。

3 我々は、両国が国際的な場及び地域において重要かつ責任あるパートナーであることを確認する。我々は、太平洋・島サミット(PALM)プロセスが太平洋地域の平和、安定及び繁栄に及ぼす貢献を想起し、PALMプロセスを通じて地域協力を促進すべく共に取り組むことの重要性を強調する。

4 我々はまた、日本企業が参画するパプアニューギニアにおける液化天然ガス(LNG)プロジェクト並びに投資の促進及び保護に関する日本国政府とパプアニューギニア独立国政府との間の協定の締結に見られるように、両国間の経済分野での協力が加速していることを確認する。我々は、同投資協定の円滑かつ効率的な実施等を通じて経済的なつながりを一層深化させる意欲を表明する。我々は、双日とパプアニューギニア国営石油公社との間の合併契約書への署名及び投資協定合同委員会第1回会合が成功裏に開催されたことを歓迎する。

5 我々はまた、防災、気候変動、環境、人的交流、持続可能な開発、海洋、海事・漁業、そして貿易、投資、観光等の多様な分野において協力を強化していく意図に改めて言及する。これに関し、我々は、「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムの一部としての柔道指導者派遣等、スポーツ分野での日本の貢献に対するパプアニューギニアによる評価を認識する。我々は、技術協力に関する日本国政府とパプアニューギニア独立国政府との間の協定の署名及び外交・公用旅券保持者に関する相互査証免除に係る口上書の交換を歓迎する。

6 上述のような日本とパプアニューギニアとの間の強い絆を築いた両国の協力及び友情の長い歴史に立脚し、我々は、両国の関係を更に深化させるために最大限の努力を払う決意を喜んで表明する。我々、安倍晋三内閣総理大臣及びピーター・オニール首相は、両国の双方向かつ包括的なパートナーシップが地域及び世界の平和と繁栄にも貢献するものと固く信じている。